



概要

この章では、PA-2FE ポート アダプタについて説明します。内容は次のとおりです。

- [ポートアダプタの概要 \(p.1-2\)](#)
- [ファストイーサネットの概要 \(p.1-3\)](#)
- [IEEE 802.3u の 100BASE-T 仕様 \(p.1-4\)](#)
- [LED \(p.1-6\)](#)
- [レセプタクル、ケーブル、およびピン割り当て \(p.1-7\)](#)
- [ネットワーク管理 \(p.1-9\)](#)
- [サポート対象プラットフォームでのポートアダプタスロットの位置 \(p.1-9\)](#)
- [インターフェイスアドレスの識別 \(p.1-17\)](#)

ポートアダプタの概要

PA-2FE は、10/100 Mbps の 10/100BASE-T ファストイーサネット /ISL (スイッチ間リンク) インターフェイスを 2 つ提供し、全二重と半二重の両方の動作をサポートします。詳細については、「[ファストイーサネットの概要](#)」(p.1-3) を参照してください。

PA-2FE の両方のモデル (PA-2FE-TX および PA-2FE-FX) を [図 1-1](#) および [図 1-2](#) に示します。

図 1-1 PA-2FE-TX — 表面プレート表示

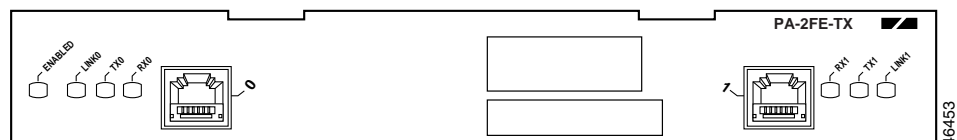
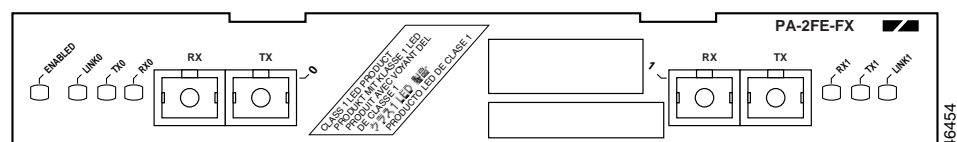


図 1-2 PA-2FE-FX — 表面プレート表示



ファストイーサネットの概要

一般に「イーサネット」という用語は、IEEE 802.3u に規定されるファストイーサネットなどのイーサネット仕様に準拠する、すべての CSMA/CD（キャリア検知多重アクセス / 衝突検出）LAN を指します。



(注)

100BASE-TX は環境 A、100BASE-FX は環境 B を対象としており、いずれも IEEE 802.3u 規格に定められています。

IEEE802.3u は、ローカル通信メディアで散発的に発生する大量のトラフィックを最大データレートで伝送する必要がある場合に適しています。CSMA/CD LAN 上のステーションは、いつでもネットワークにアクセスできます。ステーションは、データを送信する前に、ネットワークをリスニングし、そのネットワークが使用中かどうかを確認します。使用中であれば、ステーションはネットワークが空くまで待機してから送信を行います。これが半二重動作と呼ばれるプロセスです。2つのステーションがネットワークトラフィックをリスニングして、両方とも送信が行われていないと判断し、ほとんど同時に送信した場合に、コリジョンが発生します。コリジョンが発生すると、送信データは両方とも正常に受信されないため、両方のステーションで再送信が必要になります。コリジョンを検出したステーションは、バックオフアルゴリズムを使用して、再送信の時期を判断します。

イーサネットおよび IEEE 802.3u は、どちらもブロードキャストネットワークです。したがって、すべてのステーションがすべての送信を認識します。各ステーションで、受信したフレームを調べ、自らが本来の宛先かどうかを判別します。そのステーション宛ての場合は、フレームを上位プロトコルレイヤに渡して処理します。

IEEE 802.3u では、100BASE-T に関して、次の各物理レイヤが規定されています。

- 100BASE-TX — 100BASE-T、カテゴリ 5 UTP（シールドなしツイストペア）による半二重および全二重動作、EIA/TIA-568 準拠のケーブル
- 100BASE-FX — 100BASE-T、光ファイバによる半二重および全二重

各物理レイヤプロトコルの名前には、速度 / シグナリング方式 / セグメント長の形式で各プロトコルの特性が反映されています。速度は LAN 速度（Mbps 単位）、シグナリング方式はベースバンドまたはブロードバンド、セグメント長はステーション間の最大距離（100 m 単位）です。したがって、100BASE-T は最大ネットワークセグメントを使用する 100 Mbps のベースバンド LAN を表します。

IEEE 802.3u の 100BASE-T 仕様

ここでは、IEEE 802.3u の 100BASE-T 仕様を説明します。表 1-1 に、UTP と Foil Twisted-Pair (FTP; フォイルツイストペア) を使用する 100BASE-TX ファストイーサネット、および光ファイバケーブルを使用する 100BASE-FX ファストイーサネットのケーブル仕様を示します。また、IEEE802.3u 100BASE-TX および 100BASE-FX の物理特性も紹介します (図 1-3 を参照)。

表 1-1 ケーブル仕様

パラメータ	100BASE-TX	100BASE-FX (マルチモード)
ケーブル仕様	カテゴリ 5 ¹ UTP ² 、22 ~ 24 AWG	62.5/125 マルチモード光ファイバ
最大セグメント長 (半二重) ³	100 m	412 m
最大セグメント長 (全二重) ³	100 m	2,000 m
最大ネットワーク長 (半二重、リピータ 1 つ) ⁴	200 m	272 m
データレート	100 Mbps	100 Mbps
シグナリング方式	4B/5B ⁵ ブロック符号、スクランブル、MLT-3 回線符号化方式	4B/5B ブロック符号、NRZI 回線符号化方式
コネクタ	RJ-45 (ISO/IEC 60603-7:-1990)	SC タイプ: デュアル シンプレックスまたはシングル デュプレックス (RX および TX)
トポロジ	スター/ハブ	スター/ハブ

1. EIA/TIA-568 または EIA-TIA-568 TSB-36 に準拠。
2. カテゴリ 5 UTP RJ-45 ケーブルは別途必要です。
3. Data Terminal Equipment (DTE; データ端末装置) (DTE から DTE) (図 1-3 を参照)。
4. DTE、リピータ、DTE (図 1-3 を参照)。
5. 4B/5B 符号化またはブロック符号化は、4 つのデータ ビットを 5 ビットの送信シーケンスに符号化します。

図 1-3 最大セグメント長および最大ネットワーク長 — 100BASE-FX および 100BASE-TX



31703

*DTE = Data Terminal Equipment (データ端末装置)

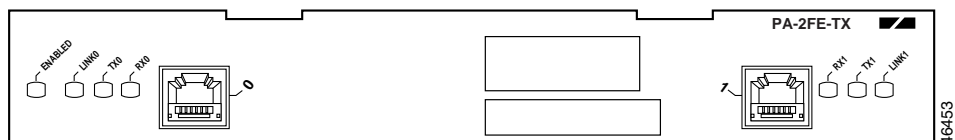


(注) PA-2FE-FX では、SC コネクタの付いた 62.5/125 ミクロンのマルチモード光ファイバを使用します。

LED

PA-2FE には7つのLED (ENABLED LED、LINK、TRANSMIT、およびポートごとの RECEIVE LED) が配置されています。図 1-4 に LED を図示します。

図 1-4 PA-2FE の LED — PA-2FE-TX の表面プレート表示



システムの初期化が終了すると、ENABLED LED が点灯します。これは PA-2FE が動作可能になったことを示しています。ENABLED LED が点灯するには、次の条件が満たされている必要があります。

- PA-2FE が正しく接続され、電力が供給されている。
- PA-2FE が搭載されたカードまたはシャーシに、正常にダウンロードされた有効なバージョンのマイクロコードが組み込まれている。
- バスが PA-2FE を認識している。

上記のいずれかの条件が満たされていない場合、または他の理由で正しく初期化できなかった場合、ENABLED LED は点灯しません。LED のカラーとインジケータ機能を表 1-2 に示します。

表 1-2 PA-2FE の LED

LED のラベル	カラー	ステート	機能
ENABLED	グリーン	点灯	ポートアダプタは動作可能
LINK0	グリーン	点灯	ポート 0 がネットワークからキャリア信号を受信中 ¹
TX0	グリーン	点灯	ポート 0 がデータを送信中
RX0	グリーン	点灯	ポート 0 がデータを受信中
RX1	グリーン	点灯	ポート 1 がデータを受信中
TX1	グリーン	点灯	ポート 1 がデータを送信中
LINK1	グリーン	点灯	ポート 1 がネットワークからキャリア信号を受信中 ¹

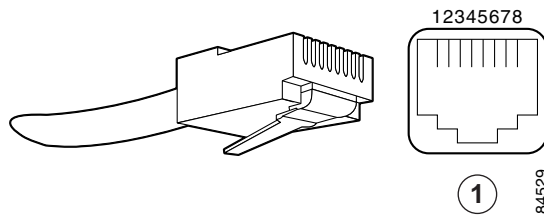
1. RJ-45 または SC ポートがアクティブな場合

レセプタクル、ケーブル、およびピン割り当て

PA-2FE 上の 2 つのインターフェイス レセプタクルは、シングル RJ-45 接続 (PA-2FE-TX) または SC タイプ光ファイバ接続 (PA-2FE-FX) です。各接続は、100BASE-X および 10/100BASE-T 規格に準拠した IEEE802.3u インターフェイスをサポートします。RJ-45 接続の場合は、外部トランシーバは必要ありません。

図 1-5 は RJ-45 ケーブル コネクタを示しています。カテゴリ 5 UTP RJ-45 ケーブルは別途必要です。PA-2FE-TX RJ-45 コネクタのピン割り当ておよび信号を表 1-3 に示します。

図 1-5 RJ-45 ポートおよびコネクタ



1	RJ-45 コネクタおよびポート
---	------------------

表 1-3 IRJ-45 ポート ピン割り当て情報

ピン	説明
1	TxD+ ¹
2	TxD-
3	RxD+ ²
6	RxD-

1. TxD = データ送信
2. RxD = データ受信



(注) 表 1-3 の RJ-45 ピン割り当てを参照して、未使用のカテゴリ 5 UTP ケーブル ペア 4/5 および 7/8 に、適切なコモンモード回線ターミネーションを使用する必要があります。コモンモード回線ターミネーションにより、EMI (電磁波干渉) が発生しにくくなるとともに、コモンモードの影響を受けにくくなります。ワイヤペア 4/5 および 7/8 は、PA-2FE-TX の RJ-45、100BASE-TX ポート回路でパッシブとして終端します。

RJ-45 インターフェイスのケーブル接続要件により、図 1-6 および図 1-7 のピン割り当てを使用します。

図 1-6 ストレート ケーブルのピン割り当て — ハブまたはリピータと PA-2FE-TX RJ-45 の接続

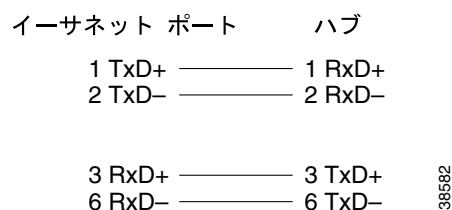


図 1-7 クロスケーブルのピン割り当て — ハブとリピータの間の PA-2FE-TX RJ-45 接続

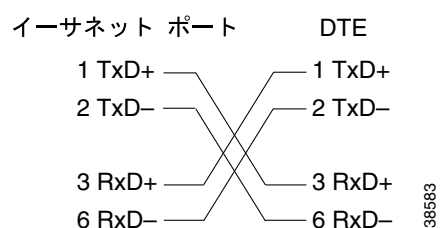


図 1-8 に、PA-2FE-FX の光ファイバ接続に使用されるデュプレックス SC コネクタ（1 つで送信と受信の両方に対応）を示します。図 1-9 に、シンプレックス SC コネクタ（送信と受信に 1 つずつ、計 2 つ必要）を示します。これらのマルチモード光ファイバケーブルは、別途必要です。

図 1-8 PA-2FE-FX デュプレックス通信用 SC コネクタ

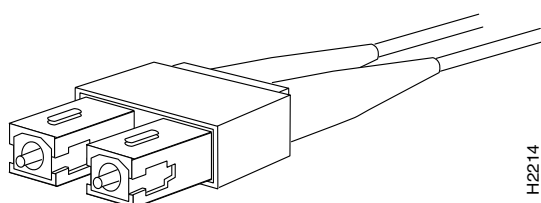
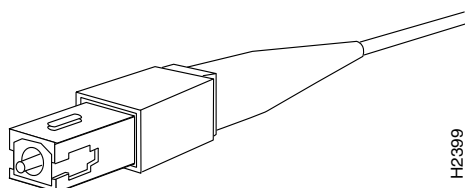


図 1-9 PA-2FE-FX シンプレックス通信用 SC コネクタ



ネットワーク管理

PA-2FE は次の規格をサポートしています。

- SNMP エージェント v1 (RFC 1155 ~ 1157)
- イーサネット MIB (RFC 1398)
- CSMA/CD の IEEE 802.3 LAN 仕様
- TCP/IP ベースのインターネットのネットワーク管理用 MIB : MIB-II (RFC 1213)
- ブリッジ用管理オブジェクトの定義 (RFC 1493)
- MIB-II インターフェイス グループの発展 (RFC 1573)

サポート対象プラットフォームでのポート アダプタ スロットの位置

ここでは、サポート対象プラットフォームでのポート アダプタ スロットの位置について説明します。次の各プラットフォームのスロット番号の規定を図で示します。

- Cisco 7100 シリーズ ルータのスロット番号 (p.1-9)
- Cisco 7200 シリーズ ルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのスロット番号 (p.1-10)
- Cisco uBR7200 シリーズ ルータのスロット番号 (p.1-11)
- Cisco 7201 ルータのスロット番号 (p.1-11)
- Cisco 7301 ルータのスロット番号 (p.1-12)
- Cisco 7304 PCI ポート アダプタ キャリア カードのスロット番号 (p.1-12)
- Cisco 7401ASR ルータのスロット番号 (p.1-13)
- VIP を搭載した Cisco 7500 シリーズ ルータのスロット番号 (p.1-14)



(注)

スロット ID の図に示されたポート アダプタは、このマニュアルに記載されているポート アダプタと異なる場合があります。

Cisco 7100 シリーズ ルータのスロット番号

PA-2FE は Cisco 7120 シリーズ ルータのポート アダプタ スロット 3、および Cisco 7140 シリーズ ルータのポート アダプタ スロット 4 にインストールできます。図 1-10 に Cisco 7120 シリーズ ルータのスロット番号を示します。図 1-11 に Cisco 7140 シリーズ ルータのスロット番号を示します。

図 1-10 Cisco 7120 シリーズ ルータのポート アダプタ スロット

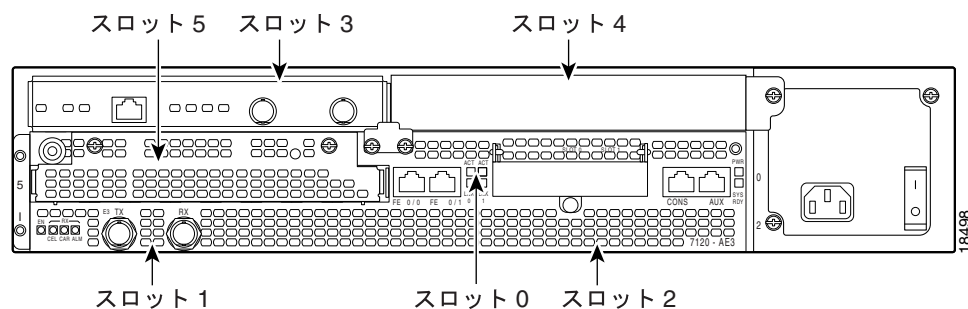
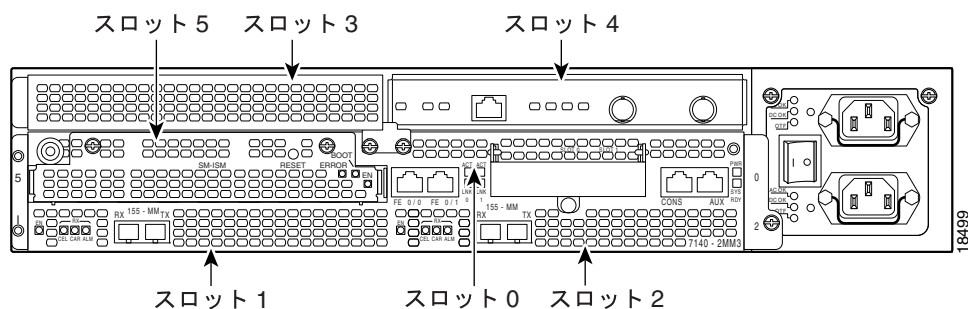


図 1-11 Cisco 7140 シリーズ ルータのポートアダプタスロット



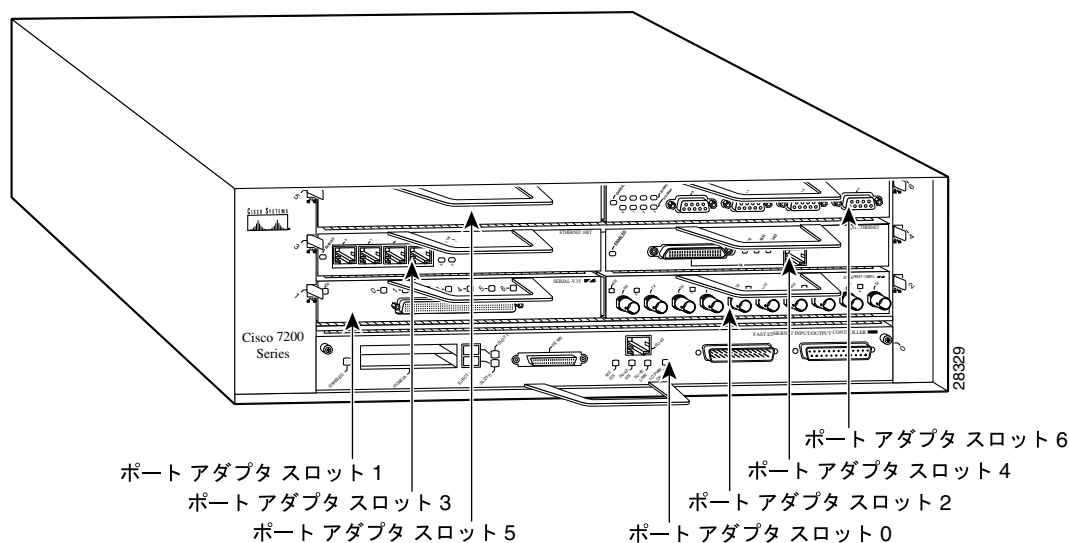
Cisco 7200 シリーズ ルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのスロット番号

Cisco 7202 ルータには 2 つのポートアダプタスロットがあります。スロット番号は左から右に向かって付けられています。ポートアダプタはスロット 1、スロット 2 のどちらにもインストールできます。Cisco 7202 ルータは示されていません。

Cisco 7204 ルータおよび Cisco 7204VXR ルータにはポートアダプタ用に 4 つのスロットと、I/O コントローラ用に 1 つのスロットがあります。スロット番号は左下から右上に向かって、スロット 1 からスロット 4 まで付けられています。ポートアダプタは、スロット 1 からスロット 4 のいずれにもインストールできます。スロット 0 は I/O コントローラ用に予約されています。Cisco 7204 ルータおよび Cisco 7204VXR は示されていません。

Cisco 7206 ルータおよび Cisco 7206VXR ルータにはポートアダプタ用に 6 つのスロットと、I/O コントローラ用に 1 つのスロットがあります。スロット番号は左下から右上に向かって、スロット 1 からスロット 6 まで付けられています。ポートアダプタは、スロット 1 からスロット 6 のいずれにもインストールできます。スロット 0 は I/O コントローラ用に予約されています。図 1-12 に Cisco 7206 ルータのスロット番号を示します。Cisco 7206VXR ルータは示されていません。

図 1-12 Cisco 7206 ルータのポートアダプタスロット

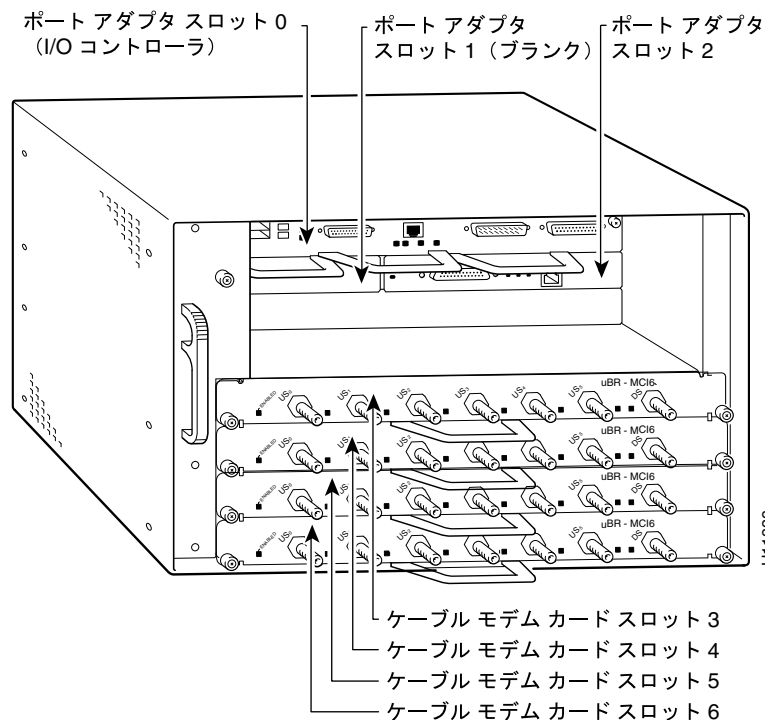


Cisco uBR7200 シリーズ ルータのポートアダプタ スロット番号

Cisco uBR7223 ルータには1つのポートアダプタ スロット (スロット1) があります。スロット0はI/Oコントローラ用に予約されています (使用する場合)。Cisco uBR7223 ルータは示されていません。

Cisco uBR7246 ルータおよび Cisco uBR7246VXR ルータには、スロット1とスロット2の2つのポートアダプタ スロットがあります。スロット0はI/Oコントローラ用に予約されています (使用する場合)。図 1-13 に Cisco uBR7246VXR ルータのポート アダプタのスロット番号を示します。Cisco uBR7246 ルータは示されていません。

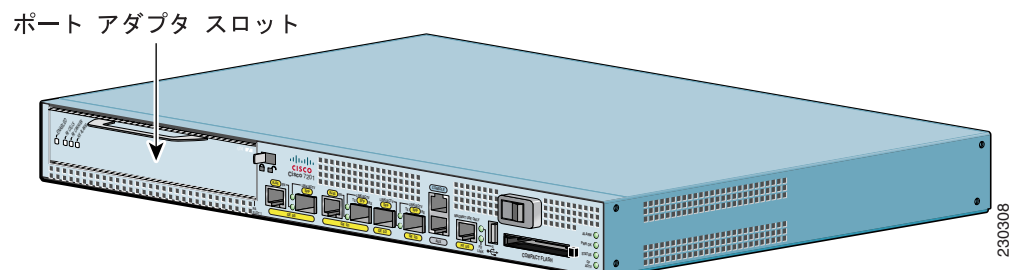
図 1-13 Cisco uBR7246VXR ルータのポートアダプタ スロット



Cisco 7201 ルータのポートアダプタ スロット番号

図 1-14 に、ポートアダプタが搭載された Cisco 7201 ルータの前面図を示します。Cisco 7201 ルータのポートアダプタ スロットは1つ (スロット1) だけです。

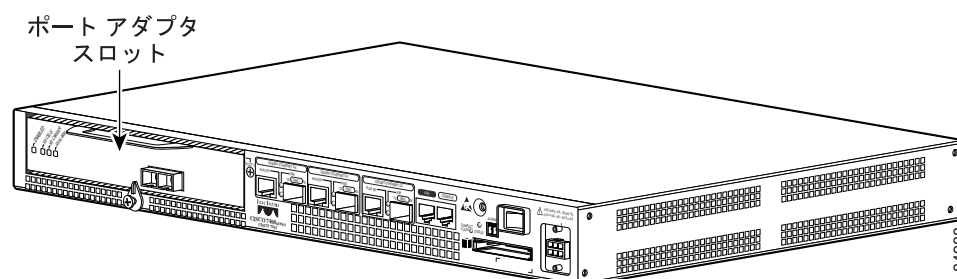
図 1-14 Cisco 7201 ルータのポートアダプタ スロット



Cisco 7301 ルータのスロット番号

図 1-15 に、ポートアダプタが搭載された Cisco 7301 ルータの前面図を示します。Cisco 7301 ルータのポートアダプタ スロットは1つ（スロット 1）だけです。

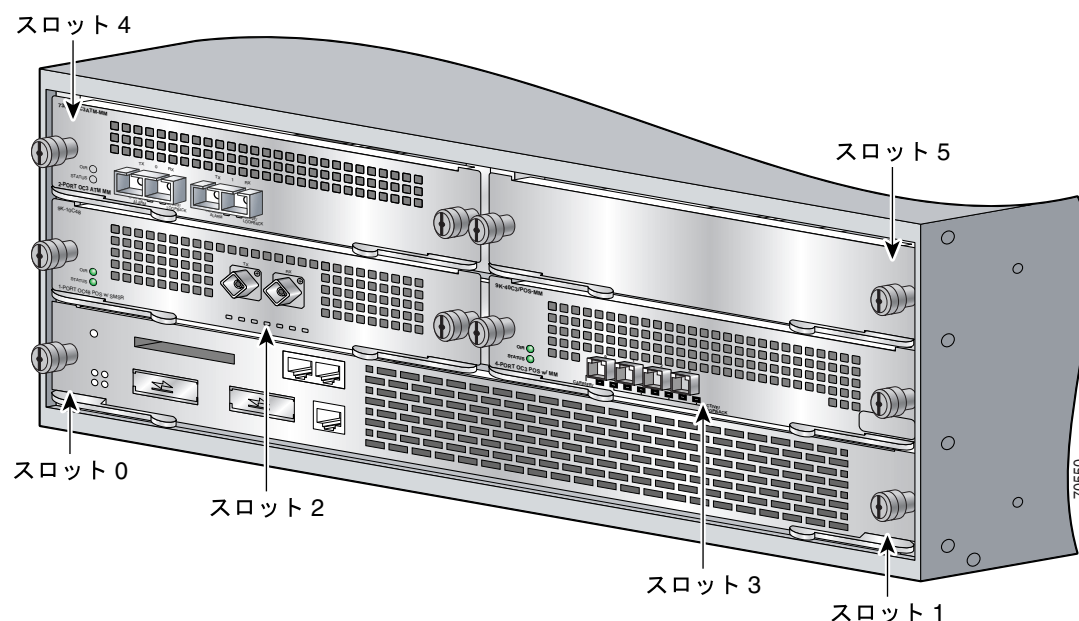
図 1-15 Cisco 7301 ルータのポートアダプタ スロット



Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリア カードのスロット番号

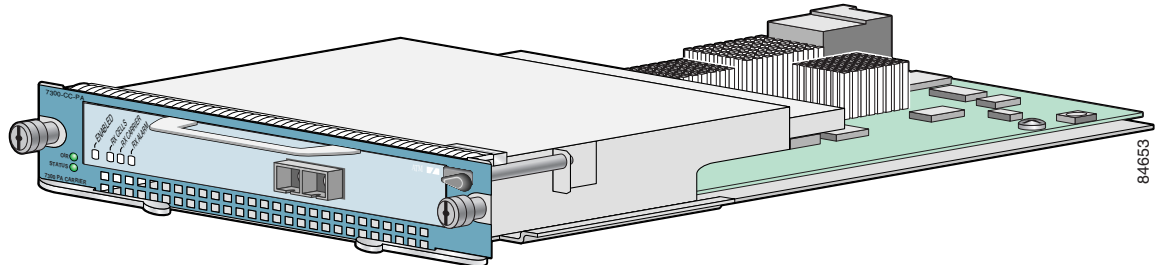
Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリア カードは、Cisco 7304 ルータのモジュール スロット 2～5 に搭載します。Cisco 7304 ルータのモジュール スロット番号は、図 1-16 を参照してください。ポートアダプタ スロット番号は、モジュールのスロット番号と同じです。スロット 0 およびスロット 1 は NPE モジュールまたは NSE モジュール用に予約されています。

図 1-16 Cisco 7304 ルータのモジュール スロット



Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードには、1つのシングル幅ポートアダプタを取り付けられます。図 1-17 は、ポートアダプタを取り付けた Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードです。

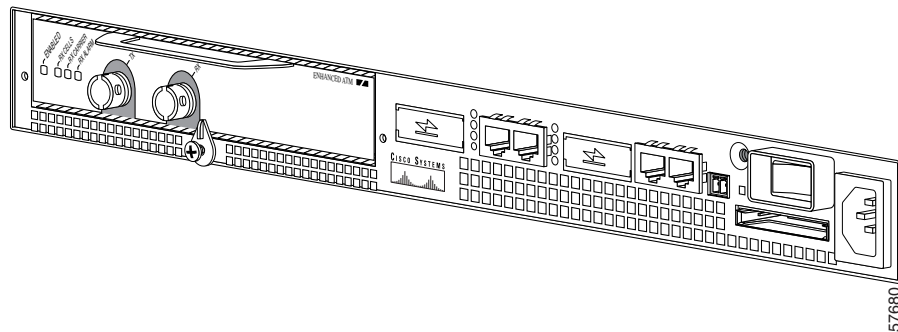
図 1-17 Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードーポートアダプタを取り付けた状態



Cisco 7401ASR ルータのスロット番号

図 1-18 に、ポートアダプタを搭載した Cisco 7401ASR ルータの前面図を示します。Cisco 7401ASR ルータのポートアダプタ スロットは1つ（スロット 1）だけです。

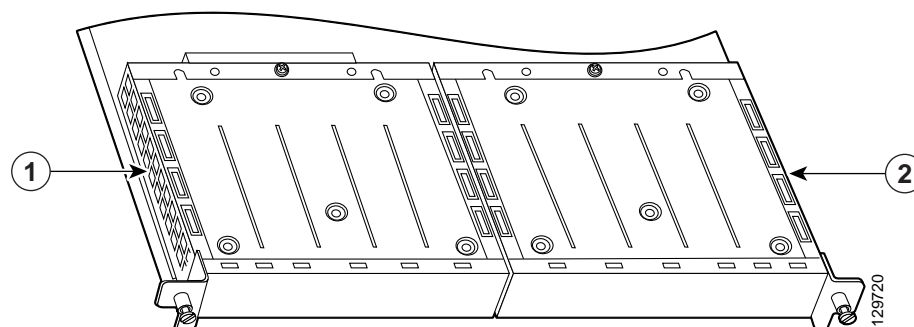
図 1-18 Cisco 7401ASR ルータのポートアダプタ スロット



VIP を搭載した Cisco 7500 シリーズ ルータのスロット番号

PA-2FE は、Cisco 7500 シリーズ ルータで使用される VIP2、VIP4、VIP6-80 でサポートされます。Cisco 7505 ルータでは、VIP スロットに VIP マザーボードを水平に搭載します。Cisco 7507 ルータおよび Cisco 7513 ルータでは、VIP スロットに VIP マザーボードを垂直に搭載します。ポートアダプタは、VIP のどちらのベイ（ポートアダプタスロット 0 または 1）にもインストールできます。ベイはVIP の左から右に向かって番号付けられています。図1-19にVIPのスロット番号を示します。

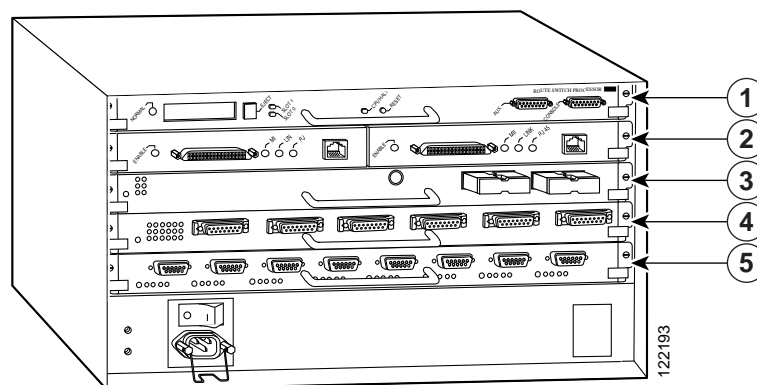
図 1-19 VIP スロット位置



1	VIP ポートアダプタ スロット 0	2	VIP ポートアダプタ スロット 1
---	--------------------	---	--------------------

Cisco 7505 ルータにはポートアダプタ用に4つのスロットと、RSP（ルートスイッチプロセッサ）用に1つのスロットがあります。スロット番号は下から上に向かって付けられています。ポートアダプタはVIP インターフェイス スロットのどのスロット（スロット 0～3）にも搭載できます。1つのスロットがRSP用に予約されています。図1-20にCisco 7505 ルータのスロット番号を示します。

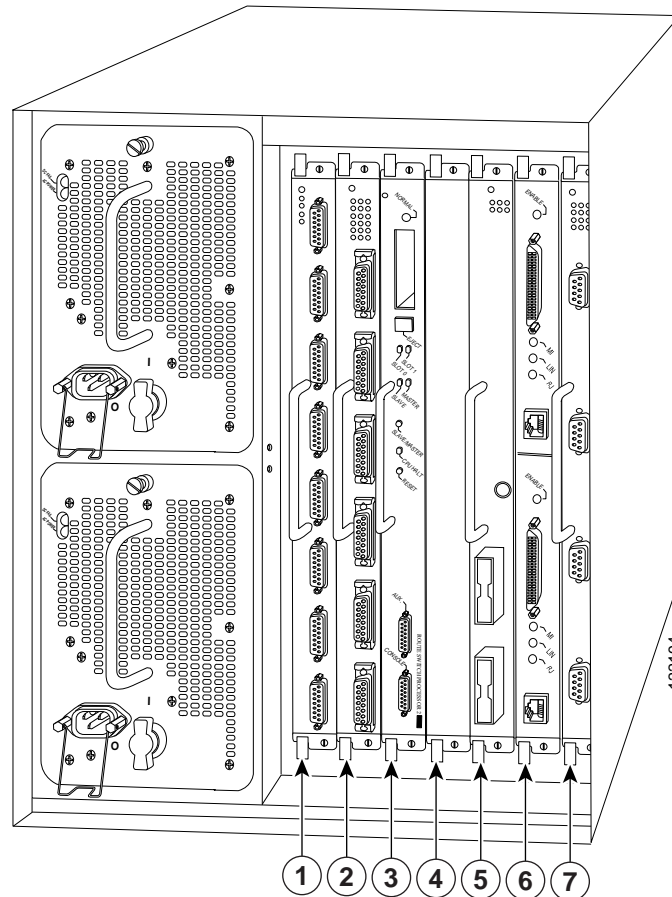
図 1-20 Cisco 7505 ルータのVIP スロット



1	RSP	4	VIP インターフェイス — スロット 1
2	VIP インターフェイス — スロット 3	5	VIP インターフェイス — スロット 0
3	VIP インターフェイス — スロット 2		

Cisco 7507 ルータには5つのポートアダプタ用スロットと、2つの RSP 用スロットがあります。スロット番号は左から右に向かって付けられています。ポートアダプタはVIP インターフェイス スロットのどのスロット (スロット 0、1、4、5、または6) にも搭載できます。スロット 2 と 3 は RSP 用に予約されています。図 1-21 に Cisco 7507 ルータのスロット番号を示します。

図 1-21 Cisco 7507 ルータの VIP スロット

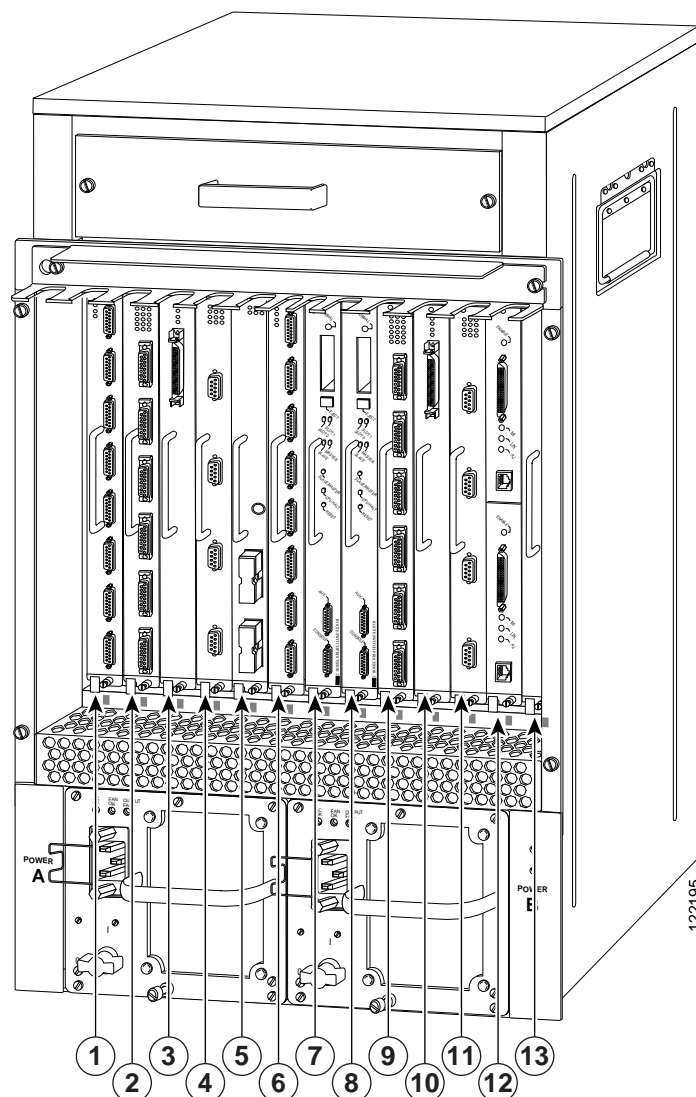


1	VIP インターフェイス — スロット 0	5	VIP インターフェイス — スロット 4
2	VIP インターフェイス — スロット 1	6	VIP インターフェイス — スロット 5
3	RSP — スロット 2	7	VIP インターフェイス — スロット 6
4	RSP — スロット 3		

■ サポート対象プラットフォームでのポート アダプタ スロットの位置

Cisco 7513 ルータには 11 のポート アダプタ用スロットと、2 つの RSP 用スロットがあります。スロット番号は左から右に向かって付けられています。ポート アダプタは VIP インターフェイス スロットのどのスロット (スロット 0 ~ 5、またはスロット 9 ~ 12) にも搭載できます。スロット 6 と 7 は RSP 用に予約されています。図 1-22 に Cisco 7513 ルータのスロット番号を示します。

図 1-22 Cisco 7513 ルータの VIP スロット



1	VIP インターフェイス — スロット 0	8	RSP — スロット 7
2	VIP インターフェイス — スロット 1	9	VIP インターフェイス — スロット 8
3	VIP インターフェイス — スロット 2	10	VIP インターフェイス — スロット 9
4	VIP インターフェイス — スロット 3	11	VIP インターフェイス — スロット 10
5	VIP インターフェイス — スロット 4	12	VIP インターフェイス — スロット 11
6	VIP インターフェイス — スロット 5	13	VIP インターフェイス — スロット 12
7	RSP — スロット 6		

インターフェイスアドレスの識別

ここでは、サポートされるプラットフォームにおける PA-2FE のインターフェイスアドレスのフォーマットについて説明します。インターフェイスアドレスは、ルータまたはスイッチの各インターフェイスの物理位置を表します。

ルータに搭載された PA-2FE のインターフェイスは、他のポートアダプタの取り付けおよび取り外しに関係なく、常に同じアドレスを維持します。ただし、ポートアダプタを別のスロットに移した場合は、インターフェイスアドレスの最初の数字が新しいポートアダプタスロット番号に変わります。

VIP に搭載された PA-2FE のインターフェイスは、他のインターフェイスプロセッサの取り付けおよび取り外しに関係なく、常に同じアドレスを維持します。ただし、VIP を別のスロットに移した場合は、インターフェイスプロセッサのスロット番号が新しいインターフェイスプロセッサスロット番号に変わります。



(注)

インターフェイスポートは、左から右へ、0 から順番に番号が付けられます。

ここでは、サポートされているプラットフォームのインターフェイスアドレスのフォーマットについて説明します。

- [Cisco 7120 ルータおよび Cisco 7140 ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-19\)](#)
- [Cisco 7200 シリーズルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-19\)](#)
- [Cisco uBR7200 シリーズルータのインターフェイスアドレス \(p.1-19\)](#)
- [Cisco 7201 ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)
- [Cisco 7301 ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)
- [Cisco 7304 PCI ポートアダプタキャリアカードのインターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)
- [Cisco 7401ASR ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)
- [Cisco 7500 シリーズルータの VIP インターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)

表 1-4 にサポートされているプラットフォームのインターフェイスアドレスのフォーマットを要約してあります。

表 1-4 インターフェイスアドレスの識別

プラットフォーム	インターフェイスアドレスのフォーマット	番号	構文
Cisco 7120 シリーズ ルータ	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポートアダプタ スロット — 常に 3 インターフェイス ポート — 0 または 1	3/0
Cisco 7140 シリーズ ルータ	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポートアダプタ スロット — 常に 4 インターフェイス ポート — 0 または 1	4/0
Cisco 7200 シリーズ ルータ および Cisco 7200 VXR ルータ (Cisco 7202、Cisco 7204、 Cisco 7204VXR、Cisco 7206、 Cisco 7206VXR)	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポート アダプタ スロット — 1 ~ 6 (ルータのスロット数による) インターフェイス ポート — 0 または 1	1/0
Cisco uBR7200 シリーズ ルータ (Cisco uBR7223)	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポートアダプタ スロット — 1 インターフェイス ポート — 0 または 1	1/0
Cisco uBR7200 シリーズ ルータ (Cisco uBR7246、Cisco uBR7246VXR)	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポートアダプタ スロット — 1 および 2 インターフェイス ポート — 0 または 1	1/0
Cisco 7201 ルータ	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポートアダプタ スロット — 常に 1 インターフェイス ポート — 0 または 1	1/0
Cisco 7301 ルータ	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポートアダプタ スロット — 常に 1 インターフェイス ポート — 0 または 1	1/0
Cisco 7304 ルータに搭載の Cisco 7304 PCI ポート アダプタ キャリアカード	モジュールスロット番号 / インターフェイス ポート番号	モジュールスロット — スロット 2 ~ 5 インターフェイス ポート — 0 または 1	3/0
Cisco 7401ASR ルータ	ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	ポートアダプタ スロット — 常に 1 インターフェイス ポート — 0 または 1	1/0
Cisco 7500 シリーズ ルータの VIP	インターフェイス プロセッサ スロット番号 / ポートアダプタ スロット番号 / インターフェイス ポート番号	インターフェイス プロセッサ スロッ ト — 0 ~ 12 (ルータのスロット数によ る) ポートアダプタ スロット — 0 または 1 インターフェイス ポート — 0 または 1	3/1/0



(注)

Cisco 7200 シリーズルータ、Cisco 7200 VXR ルータ、および Cisco uBR7200 シリーズルータでは、ポートアダプタ スロット 0 は I/O コントローラ (使用する場合) のファストイーサネット用に予約されています。

Cisco 7120 ルータおよび Cisco 7140 ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7120 シリーズルータでは、ポートアダプタはポートアダプタ スロット 3 にインストールします。図 1-10 を参照してください。Cisco 7140 シリーズルータでは、ポートアダプタはポートアダプタ スロット 4 にインストールします。図 1-11 を参照してください。

インターフェイスアドレスは、2 つの番号からなり、フォーマットは、ポートアダプタ スロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。例えば、2 ポート PA-2FE が Cisco 7120 ルータにインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 3/0 および 3/1 になります。2 ポート PA-2FE が Cisco 7140 ルータにインストールされている場合は、インターフェイスアドレスは 4/0 および 4/1 になります。

Cisco 7200 シリーズ ルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7200 シリーズルータおよび Cisco 7200 VXR ルータでは、ポートアダプタ スロットは左下から右上に向かって番号付けられています。スロット 1 から始まって、Cisco 7202 はスロット 2 まで、Cisco 7204 および Cisco 7204VXR はスロット 4 まで、Cisco 7206 および Cisco 7206VXR はスロット 6 まであります。ポートアダプタは、1 ~ 6 (ルータのスロット数に応じて) の使用可能ないずれのポートアダプタ スロットにでもインストールできます(スロット 0 は I/O コントローラ用に予約されています)。図 1-12 を参照してください。

インターフェイスアドレスは 2 つの番号からなり、フォーマットは、ポートアダプタ スロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。例えば、2 ポート PA-2FE が Cisco 7200 シリーズルータのスロット 1 にインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 と 1/1 (スロット 1 でポート 0 と 1) になります。2 ポート PA-2FE がスロット 4 にインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 4/0 と 4/1 (スロット 4 でポート 0 と 1) になります。

Cisco uBR7200 シリーズ ルータのインターフェイス アドレス

Cisco uBR7223 ルータでは、1 つのスロットだけにポートアダプタをインストールでき、そのスロット番号は 1 です。

Cisco uBR7246 ルータおよび Cisco uBR7246VXR ルータでは、ポートアダプタを 2 つのポートアダプタ スロットにインストールできます (スロット 1 とスロット 2)。スロット 0 は I/O コントローラ用に予約されています (使用する場合)。図 1-13 を参照してください。

インターフェイスアドレスは、2 つの番号からなり、フォーマットは、ポートアダプタ スロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。例えば、2 ポート PA-2FE が Cisco uBR7223 シリーズルータのスロット 1 にインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 と 1/1 (スロット 1 でポート 0 と 1) になります。2 ポートポートアダプタが Cisco uBR7246 または Cisco uBR7248VXR ルータのスロット 2 にインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 2/0 と 2/1 (スロット 2 でポート 0 と 1) になります。

Cisco 7201 ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7201 ルータでは、1つのスロットだけにポートアダプタをインストールでき、そのスロット番号は1です。図 1-14 を参照してください。

インターフェイスアドレスは2つの番号からなり、フォーマットは、ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。例えば、2ポート PA-2FE が Cisco 7201 ルータにインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 と 1/1 になります。

Cisco 7301 ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7301 ルータでは、1つのスロットだけにポートアダプタをインストールでき、そのスロット番号は1です。図 1-15 を参照してください。

インターフェイスアドレスは2つの番号からなり、フォーマットは、ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。例えば、2ポート PA-2FE が Cisco 7301 ルータにインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 と 1/1 になります。

Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリア カードのインターフェイス アドレス

Cisco 7304 ルータの場合、ポートアダプタは、Cisco 7304 ルータ モジュールスロット 2～5 に搭載されている Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードにインストールします。ポートアダプタスロット番号はモジュールスロット番号と同じです。図 1-16 を参照してください。

インターフェイスアドレスは2つの番号からなり、フォーマットは、モジュールスロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。例えば、2ポート PA-2FE が、Cisco 7304 ルータモジュールスロット 3 に搭載されている Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードにインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 3/0 と 3/2 になります。

Cisco 7401ASR ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7401ASR ルータでは、1つのスロットだけにポートアダプタをインストールでき、そのスロット番号は1です。図 1-18 を参照してください。

インターフェイスアドレスは2つの番号からなり、フォーマットは、ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。例えば、2ポート PA-2FE が Cisco 7401ASR ルータにインストールされている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 と 1/1 になります。

Cisco 7500 シリーズ ルータの VIP インターフェイス アドレス

Cisco 7500 シリーズルータでは、ポートアダプタはインターフェイスプロセッサスロット 0～12 (ルータのスロット数に応じて) にインストールされている VIP にインストールします。ポートアダプタは、VIP のどちらのベイ (ポートアダプタスロット 0 または 1) にもインストールできます。図 1-19、図 1-20、図 1-21、および図 1-22 を参照してください。

VIP のインターフェイスアドレスは3つの番号からなり、フォーマットは、インターフェイスプロセッサスロット番号/ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号です。表 1-4 を参照してください。

最初の番号はVIPがインストールされているスロット（スロット0～12、ルータのスロット数に依存）を表しています。

2番目の番号はポートアダプタがインストールされているVIPのベイ（ポートアダプタスロット）を表しています（0または1）。ベイはVIP上で左から右に向かって番号付けられています。

3番目の番号はポートアダプタの物理的なポート番号（インターフェイスポート番号）を表しています。ポート番号は0から始まり、左から右に番号付けられています。PA-2FEは2ポートポートアダプタなので、ポートは0または1です。

例えば、2ポートPA-2FEがインターフェイスプロセッサスロット3、ポートアダプタスロット1のVIPにインストールされている場合、インターフェイスアドレスは3/1/0と3/1/1になります。



(注)

7スロットのCisco 7507と13スロットのCisco 7513シャーシは縦形で、5スロットのCisco 7505横型ですが、スロットおよびポート番号の付け方は、すべてのCisco 7500シリーズルータで共通です。

